



①オーガニック仕上げの黒板として
使える収納扉

以前は給湯器がしまわれていたところの収納扉を黒板塗装仕上げに。最後の仕上げはパパ。子どものための手作り。ここがLKのコミュニケーションスペースとして稼働中。



②ローコストの本棚

はりに合わせて、壁面いっぱいに寸分の無駄もなく作った本棚。頑丈に大工さんに作ってもらったので背板のない棚だけのもの。それでも十分役割を果たしてくれてしかもローコスト。出版関係のお仕事のお二人には満足していただきました。

③二方向引き込む扉で子ども専用を確保

LDKに隣接する子どもの部屋は、今は建具の枠だけつくりオーブンに。子どもの部屋として独立させたいときに建具を入れる。間に同じサイズの子ども室。間仕切りは引き戸だから当分はワンルームとして使用。

④在来の島々を生かして凸凹の形の浴室は広々

ユニットバスの高さは保温性の高さでも離点は廿イフ。高さが限られていました。

この浴室にユニットバスを入れるとビジネスホテル並みのものでなければ、梁がでていて無理。だから在来工法で洗濯機置き場のフペまでが使えて奥行きのある浴室に変身

⑤ 1.3. 外国インテリア雑誌にあるような洗面室が欲しかった

⑤-1.2 ブラジルの紹介にあるように、画面裏側に伏せたかった

上下はオーブンにして、上の棚にはバスケットかごをのせて収納スペース。カウンターまわりや床材は浴室、トイレと同様にタイリ上に“わらびねぎ”らしさのあるインテリアにならしめた。

アランのポイント

アンドリューの世界

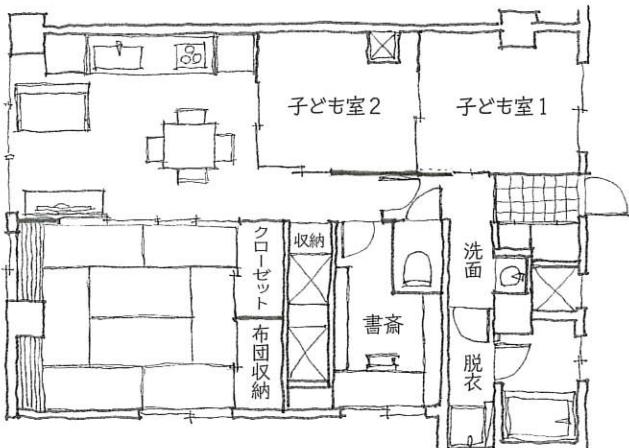
「80平米がほぼワンルームに」
フランのポイント

和室との境、子ども部屋2室の間仕切りは引き戸。ダイニングと子ども部屋の境もコ一ナー引き込みにして、この建具をすべて開けるとひとつながりになります。

唯一の独立した部屋は書斎、ここには壁一面に本棚を設置。ご夫婦のお仕事がらを反映しての仕事部屋としています。

洗濯機置き場が浴室の中に。また浴室の隣のトイレを皆の使いやすい廊下から入れる場所に移動。トイレのあつた場所を洗濯機置き場にする大胆な設備の位置変えをしました。

和室8畳という今はしないマンションの間取りを生かし、ここは家族皆の寝室に。押し入れを改造してクローゼットにして洋服をしまえるスペースを確保しています。



〈新シリーズ・訪問〉 お仕事させていただいたお客様のその後。気持ち良い暮らしていますか?

中古マンションをフルリノベーション

Fさま宅 仕事をお持ちの30代のご夫婦・お子さん2人(5歳・2歳)

生き方
×
住まい

01

私たちは心地よい暮らしへ、家族が仲良くなるための大切な要素だと考えています。住まいに家族の歴史が刻まれ、そして生き方が映し出されます。だからこそお宅訪問は心がわくわくしてきますね。



和室に続くLDKの床は輸入材のワイルドアカシア、節目が目立つところにまた風合이が。和風モダンでレトロなソファとも似合って、全体にナチュラルな仕上がりになりました。

初めてのことなので、リノベーションはどうすすめてよいかわからず、ほぼサンクさんにおまかせ状態でしたが、こんな進め方で良かったのか他との比較もないのでわかりません。（大丈夫です！）

最初、やりたいことを全部プランにいれてもらつたら予算がオーバー。修正を何回かし、どうしても外せない使いづらい水回りの配置は替えました。そのため、既存より床をあげなくてはいけないとか、構造上の制約がありはしましたが、プランはほぼ希望通りになりました。

ただ浴室は梁が大きくでいて、ユニットバスだと既成のものが入らず、結局、今までの在来のタイル張りに。見た目はきれいに仕上がったのですが、やはり位置も北側あるので、冬はとても寒いです。暖房設備は予算を削らずいれておけばよかつたと思いました。

素材にはこだわり、本物に。だから建具もすべてオーダー。そして床は無垢材を使いました。経年変化しても本物はその風合いでてくる良さがあり、そんなナチュラルなインテリアは気についています。との感想をいたしました。

夫婦としての初めての大きな買い物。だから、新築か中古かは迷うところだったとか。築40年を経過しているマンションは駅近、広さも80平米近くあった。そこで、中古マンションをフルリノベーションしてのお住まいを選ばれたそうです。

訪問記